

事務事業評価シート

(H.28)No.	3161	(H.27)No.	3161
-----------	------	-----------	------

事務事業名	県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	340513
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	林業振興対策費	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
近年、野生鳥獣による農林産物被害が中山間地域だけではなく市街地周辺においても日常的に発生し深刻な問題となっているため、有害獣捕獲・駆除を推進することで、農林産物の被害軽減を図る。
事業内容
有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。 ・共同捕獲推進事業委託 2,800千円 ・有害鳥獣被害防止事業補助金 1,100千円	有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。 ・共同捕獲推進事業委託 3,000千円 ・有害鳥獣被害防止事業補助金 1,100千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。	有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。	有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	3,900千円	4,100千円	4,100千円	4,100千円	4,100千円
内訳(千円)					
国・県支出金	1,950	2,050	2,050	2,050	2,050
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 1,950	2,050	2,050	2,050	2,050
人工数					
職員	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,748千円	1,748千円	1,748千円	1,748千円	1,748千円
①+②総事業費	(0千円) 5,648千円	5,848千円	5,848千円	5,848千円	5,848千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
有害獣の捕獲・駆除を実施し、個体数の調整を推進することができた。	有害鳥獣の個体数は増加の一途をたどっていることから、引き続き捕獲による個体数調整の実施を推進していく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	有害鳥獣の駆除によって、農業を取り巻く環境の改善に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	有害鳥獣の駆除に向け、地元住民等と連携して効果的な事業につなげている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市鳥獣被害防止計画
有害鳥獣の個体数は増加の一途をたどっており、市民からのニーズも高いことから、引き続き捕獲による個体数調整の実施を推進していく。	